

さいたま市教組新聞

編集・発行/
さいたま市
教職員組合
〒330-0843
さいたま市大宮区
吉敷町4-93-5
大宮教育会館2F
TEL 641-6763
FAX 648-3567
2017. 10. 19(木)
No. 233

人事は人事(ひとごと)ではない

市教委と人事交渉を実施

十月五日、市教委との来年度の人事に関する交渉が行われました。

人事は私たちの生活設計上でも大変重要な事柄です。そんな意味でも人事は決してひとごとでない切実なものといえます。その思いを組合としても限られた時間の中で伝えました。

人事方針、調書についての問題点を指摘

すでに調書の提出は済んでいるかと思いますが、各職場で校長から説明のあった「同一校二年以上勤務者は異動希望を記入」について、「異動の意思がないのに異動させられ

てしまうのではないかなど現場での不安の声や危惧されることを伝えました。

市教委は、「三年はあくまで一つの区切り。三年で変えようとは思っていない。」「書いたからと言ってやみくもに異動させることはなく、必ず本人の確認をとっている。」とのことで、遠慮なく校長に自分の状況を、異動の意思がある、なしも含めて伝えてほしいとのことでした。

また、異動対象の教職員はいわゆる「特記事項」の欄にライフプランなどを含めた、家庭の状況や健康状態、それを含めた異動の希望を、具体的な地域など自由に書いて校長に伝えてほしいとのこ

とでした。

さらに「書かなかったことは校長との面談で話せばよい」(市教委)との説明があり、提出後も書き足りなかつたことや伝えたいことが発生した場合などは直接校長に伝えることが大切です。校長が市教委のヒアリングの際にその旨を伝えることになっていくからです。

再任用者の在任期間について確認

再任用の教職員がその職場に続けていられるかどうかは、「校長先生のさし加減」になっているのではないかと指摘をされました。市教委は「同一校で続けているケース

もある。さし加減はない。」
「個々に対応している。」
市教委の面談で意向を伝えてほしい。」との回答でした。



安心して過ごせる職場に

休暇は私たちの大切な権利

また、交渉では代替未配置の件も話し合われました。

まず、産休、育休、病休をとる際の代替教職員の未補充がそれぞれの職場で大きな問題になっていることが指摘されました。

産休、育休は管理職がそれぞれの職場で調査までして、予め分かっているはずなのに、なかなか見つからず、校長が職集で「誰か知り合いにできそうな方はいませんか。」などと、直接職員に尋ねるのが慣例のようになっています。

市教委は、「責任を感じている。退職者や大学などにも声をかけて努力している。」と回答しています。しかし、多忙化している職場の中では、さらに特別に教職員を配置してほしいという状況です。それだけに代替の先生の配置は急務であり、市教委は職場任せにせず、今以上に代替者の

代替未配置の深刻な実態

◆二学期から二人産休。そのうち一人は代替が来たが、もう一人は来ないため算数少人数教員が担任に。教務が補助で国語と算数を担当 (K小)

◆今年十月から技術担当が病休になり、まだ代替が来っていない (O中)

◆九月から病休になる6年担任の代わりの主任三人で教務の主任と兼務になり、仕事を分担した。 (N中)

◆去年産休者は三人でしたが、一人は臨採だったので退職扱い。残りの科の教務主任の代替が見つからず、二人はアシスタントの人と短時間勤務の人が担任に繰り上がり、学年末まで担任をした。 (M小)

◆今年十月から技術担当が病休になり、まだ代替が来っていない (O中)

◆九月から病休になる6年担任の代わりの主任三人で教務の主任と兼務になり、仕事を分担した。 (N中)

◆去年産休者は三人でしたが、一人は臨採だったので退職扱い。残りの科の教務主任の代替が見つからず、二人はアシスタントの人と短時間勤務の人が担任に繰り上がり、学年末まで担任をした。 (M小)

◆今年十月から技術担当が病休になり、まだ代替が来っていない (O中)

◆九月から病休になる6年担任の代わりの主任三人で教務の主任と兼務になり、仕事を分担した。 (N中)

配置に真摯に取り組むべきです。

ちなみに他市では緊急に対応するため、市費などで「教育委員会付」として職員を雇い、配置を行っている事例もあるそうです。

知っていますか、体育代替の制度

また、妊娠中の先生には教育水準の維持と母体保護を図るため、体育授業の代替講師が配置されるようになっていきます。

しかしながらこれらも「なかなか見つからない。」として、学校内の措置だけで済ましてしまうケースが多いと指摘されています。

教職員の当然の権利です。妊娠が分かっただけで、遠慮への付き添い・泊を伴う行事・水泳指導・家庭訪問は学校での個人面談にする、高い階の教室を避けるなどの配慮を校長に請求しましょう。

未配置問題は、職場の多忙化の大きな要因になっています。市教組としてこの問題について引き続き取り組みを強化していく予定です。



臨採者に産休を保障

市教組の指摘で改善

不当な校長の発言、

本人の訴えから発覚

長期休暇を取る際、その代替として仕事を受けてくれる臨時的任用の教職員の方々には感謝の思いです。しかし、その臨採者の教職員の権利が不当に保障されていないケースが発覚しました。

○校の臨採者が妊娠を校長に伝えた際、校長から、「これまで臨任で産休を取った前例がない」と言われ、さらに「契約更新の〇月〇日までに退職するか、産休に入る直前の〇月までという条件で更新するか」の二択を迫られました。

本人は臨採者にも当然のことながら産休の権利があることを知っていたため、それを伝えました。が取り扱われず、やむなく組合に訴えました。

さいたま市教組はすぐに市教委へ問い合わせ、確認を行いました。

その後の展開は早く、管理職が手のひらを返したようにすぐに本人に産休の段取りを話し合うような顛末でした。

しかし、これは本人の勇気ある訴えがあったからこそ発覚し、指導やその後の話し合いが出来たケースです。取れるはずの様々な権利が管理職の勝手な判断でうやむやになったり、知らぬ間に権利を逸してしまったりするケースがあります。

臨採者の方は立場上なかなか自分の状況を伝えにくい雰囲気もあります。そんな時には周りの教職員の手助けも大いに必要といえます。それでも難しい時は組合にぜひご相談ください。

休暇など様々な権利や管理職の不当な発言、パワハラなどの相談は組合でも行っています。お近くの組合員や下記組合事務所へ直接ご連絡ください。



書評

「男尊女子」

酒井順子著

「男尊女子」とは「男尊女卑」ならぬ、自分を低く見せ、男を立てる女性を指す。女は「バカ」のふりをしていてモテないんだ。モテるモテないの違いはそこに出る」と著者はいう。

例えば、こんな事。「モテる友人が、男子の前に出ると急にものを知らないドジっ子になるのを見た時でした。『等々力と書いて、トドロキって読むの知ってたあ？トウトウリヨクかと思ってたあ』と言う彼女に対して、『ばっかだなあ、そんなことも知らないのかよ』と言う男子の目には、やけに優しい光が宿っていたのです」とある。

以前、誰だか「結婚は、誤解と錯覚の産物」などという人がいたが、恋愛はもつとその要素が強そう。男女は付き合うほどに本当の姿を見せるものではないか、などというのは男性目線のこと。女性には結婚するまでは、

虚々実々の駆け引きなど普通のことなかもしれぬ。そのことで「女性というものはわからない」だとか、「女性ははずるい」などというのはいわゆる、著者によれば、「この社会で男性に合わせざるを得ないのが女性であり、バカなフリもやむを得ない手段」ということ。それは、女性が悪いどういうものではなく、男性にも責任の一端があるということなのだ。もつと言えは、男女平等などといったも、「男尊女卑」の感覚は、戦後70年以上たつた今の世でさえ、なかなか簡単に抜けていないということになる。

しかし、著者はそのことを声高に主張しているわけではなく、「自分の矛盾を戒めながらも、『男尊女卑』の現実を知らしめ、静かにその消滅を祈る」(毎日新聞記者のコメント) っている人なのだ。

また、男性を立てるといふことに関して、女性の強いものからの庇護受

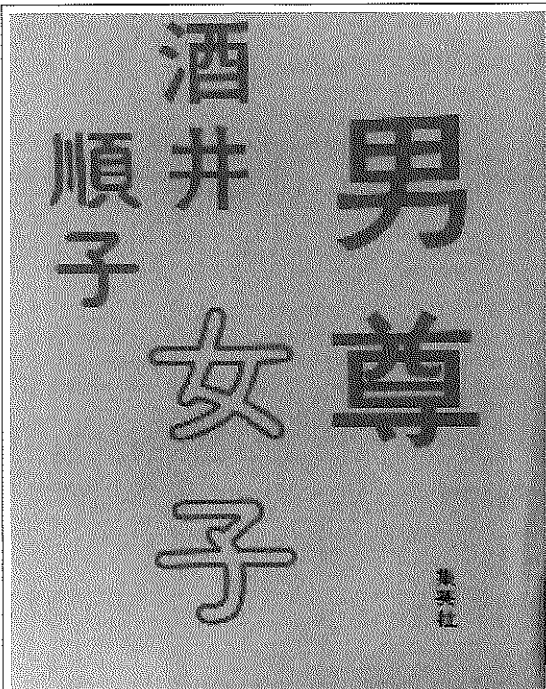
容、責任回避の性向という意味合いで、彼女はこうも言う。

「ジャッジするということとはとても大変なこと。すし、それを他人に任せれば、本当に楽ですよ。

間違えたとしても自分の責任じゃないし。『楽』というもののパワーの強さは、『正しい』なんかの比じゃないです。ずっと責任を取らずに来た日本女性に、急にハンドルの切れといっても難しいのでしょね。」

これは、彼女自身にある「男尊女子」的なものを十分に認めたいという主張。バランス感覚がある人だと思ふ。

こんな話ばかりではない。昨今の幼児虐待の例になると、そこには男女間の不平等が遠因としてあったりするのでことは



深刻になる。

「実の親が手を下す、というケースが少なく、母親側の連れ子を、その再婚相手や内縁の夫が虐待したり殺してしまったり、というケースが目立ち、一時には実の母親が虐待に加担している場合もある」が、「彼女達は一様に、夫もしくは内縁の夫に『嫌われたくなかった』と言う」という。

この例を「実の子供を守ることよりも、『つがいをキープする』ことをのほう選んでしまうという、最も悲惨な男尊女子の現れ方」と指摘するが、一方で、「彼女達の中の自信の無さは、多くの日本女性にも見られるものです」と述べていることにも納得する。

(S・I)